

30mm

## 農業食料工学会年次大会に関する研究 —講演要旨の書き方—

○農機太郎<sup>1\*</sup>，農食花子<sup>1</sup>，食工次郎<sup>2</sup>

<sup>1</sup>○○大学△△研究科，<sup>2</sup>□□農業研究センター◇◇部

### 【研究目的】

本テンプレートは Microsoft Word を用いて、農業食料工学会年次大会講演要旨に掲載する講演要旨原稿を作成するためのものです。

原稿用紙は A4(縦 297 mm 横 210 mm)1 ページとし、左右の余白は 25 mm，上下の余白はそれぞれ 30 mm，28 mm とします。

講演題目および発表者を記載する欄(セクション)のページ設定は、日本語フォントを明朝体 10 pt，英数字フォントを Times New Roman 10 pt，段組みなし，1 ページ行数を 43 行，1 行文字数を全角 45 文字としてください。

本文を記載する欄(セクション)のページ設定は、日本語フォントを明朝体 10 pt，英数字フォントを Times New Roman 10 pt，2 段組み，段組み間隔 12mm(全角 3.4 文字)，1 ページ行数を 43 行，1 行文字数を全角 21 文字としてください。

### 【実験方法】

講演題目名は 11pt のボールド体で中央揃えとし、副題があれば次行に記載してください。

発表者氏名は講演題目名(副題)の次行に中央揃えまたは右揃えで記載してください。

連名の場合は、カンマで区切り、つづけて記載し、講演者氏名の前に<sup>○</sup>印(上付き)を付けてください。氏名の後ろに所属を示す半角数字<sup>1</sup>(上付き、複数の場合は<sup>1,2,...</sup>)を付けてください。代表者には氏名の後ろに\*(半角)を付け、その連絡先(Tel, Fax, E-mail などから最低 1 つ)を参考文献の後(本文の最終行)に記載してください。

発表者所属のあとを 1 行あけて本文を記載する欄(セクション)となります。

本文は、研究目的・実験方法・結果と考察・参考文献などの見出しをつけて記載して下さい。

### 【結果と考察】

図(写真も含む)を掲載する場合は、図の下にタイトルを記入して下さい。表の場合、タイトルは表の上に記入して下さい。図や表の中の文

字は見やすい大きさにするよう心がけて、およそ 9 pt 以上を目安として下さい。また、写真は必要最小限にとどめてください。



図 1 図や写真のタイトル

### 【参考文献】

本文中で文献を参照するときは、例<sup>1)</sup>、例<sup>2-4)</sup>のように上付きの番号を順番にふってください。文献リストの書式は、以下を参考にして下さい。

- 1) Noki, T., Nosyoku, H., 2014. Automatic control of agricultural tractor, J. JSAM, 76(1), 1-6.
- 2) 農機太郎，農食花子，食工次郎，2014. 収穫後処理に関する研究，農機誌，76(1)，7-12.

\* E-mail: nogyoshokuryo@j-sam.org

28mm